

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成21年4月9日(2009.4.9)

【公開番号】特開2006-80604(P2006-80604A)

【公開日】平成18年3月23日(2006.3.23)

【年通号数】公開・登録公報2006-012

【出願番号】特願2004-259362(P2004-259362)

【国際特許分類】

H 04 M 1/274 (2006.01)

【F I】

H 04 M 1/274

【手続補正書】

【提出日】平成21年2月23日(2009.2.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

登録されたアドレス情報を記憶する第1の記憶手段と、

登録可能なアドレス情報の数が前記第1の記憶手段より少ない第2の記憶手段と、

前記アドレス情報を表示する表示手段と、

発呼時或いはメール送信時に前記第2の記憶手段に記憶されたアドレス情報を前記表示手段に優先的に表示させる表示制御手段と、を備えたことを特徴とする通信装置。

【請求項2】

登録されたアドレス情報を記憶する第1の記憶手段と、

前記第1の記憶手段から発呼あるいはメールの送信頻度の多い所定数のアドレス情報を抽出して記憶する第2の記憶手段と、

前記アドレス情報を表示する表示手段と、

発呼時或いはメール送信時に前記第2の記憶手段に記憶されたアドレス情報を前記表示手段に優先的に表示させる表示制御手段と、を備えたことを特徴とする通信装置。

【請求項3】

前記表示制御手段が、前記第2の記憶手段に記憶されたアドレス情報を発呼あるいはメールの送信頻度の多い順番に配列して表示させることを特徴とする請求項2に記載された通信装置。

【請求項4】

登録されたアドレス情報を記憶する第1の記憶手段と、

前記第1の記憶手段に記憶されたアドレス情報から、所定数のアドレス情報を抽出する抽出手段と、

前記抽出手段により、抽出されたアドレス情報を記憶する第2の記憶手段と、

アドレス情報を表示する表示手段と、

発呼時或いはメール送信時に前記第2の記憶手段に記憶されたアドレス情報を前記表示手段に優先的に表示させる表示制御手段と、を備えたことを特徴とする通信装置。

【請求項5】

前記アドレス情報が、少なくとも電話番号あるいはメールアドレス、氏名の情報を含むことを特徴とする請求項2乃至4のいずれか1項に記載された通信装置。

【請求項6】

登録されたアドレス情報を記憶する第1の記憶手段と、前記第1の記憶手段から発呼あるいはメールの送信頻度の多い所定数のアドレス情報を抽出して記憶する第2の記憶手段と、を有する携帯電話装置におけるアドレス情報の表示方法であって、

着呼時或いはメール送信時に、前記第1の記憶手段から発呼者情報を検索して表示し、

発呼時或いはメール送信時に前記第2の記憶手段に記憶されたアドレス情報を表示することを特徴とするアドレス情報の表示方法。

【請求項7】

登録されたアドレス情報を記憶する第1の記憶手段と、前記第1の記憶手段に記憶されたアドレス情報から所定数のアドレス情報を抽出したアドレス情報を記憶する第2の記憶手段と、を有する携帯電話装置におけるアドレス情報の表示方法であって、

着呼時或いはメール送信時に、前記第1の記憶手段から発呼者情報を検索して表示し、

発呼時或いはメール送信時に前記第2の記憶手段に記憶されたアドレス情報を表示することを特徴とするアドレス情報の表示方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】通信装置及びアドレス情報の表示方法

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、多くの電話番号やメールアドレス等を記憶する機能を有する通信装置に関する、特に、電話番号やメールアドレス等のアドレス情報の表示方法に関する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項1に記載の発明は、登録されたアドレス情報を記憶する第1の記憶手段と、登録可能なアドレス情報の数が前記第1の記憶手段より少ない第2の記憶手段と、前記アドレス情報を表示する表示手段と、発呼時或いはメール送信時に前記第2の記憶手段に記憶されたアドレス情報を前記表示手段に優先的に表示させる表示制御手段と、を備えたことを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

請求項2に記載の発明は、登録されたアドレス情報を記憶する第1の記憶手段と、前記第1の記憶手段から発呼あるいはメールの送信頻度の多い所定数のアドレス情報を抽出して記憶する第2の記憶手段と、前記アドレス情報を表示する表示手段と、発呼時或いはメール送信時に前記第2の記憶手段に記憶されたアドレス情報を前記表示手段に優先的に表

示させる表示制御手段と、を備えたことを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

請求項3に記載の発明は、前記表示制御手段が、前記第2の記憶手段に記憶されたアドレス情報を発呼あるいはメールの送信頻度の多い順番に配列して表示させることを特徴とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

請求項4に記載の発明は、登録されたアドレス情報を記憶する第1の記憶手段と、前記第1の記憶手段に記憶されたアドレス情報から、所定数のアドレス情報を抽出する抽出手段と、前記抽出手段により、抽出されたアドレス情報を記憶する第2の記憶手段と、アドレス情報を表示する表示手段と、発呼時あるいはメール送信時に前記第2の記憶手段に記憶されたアドレス情報を前記表示手段に優先的に表示させる表示制御手段と、を備えたことを特徴とする。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

請求項5に記載の発明は、前記アドレス情報が、少なくとも電話番号あるいはメールアドレス、氏名の情報を含むことを特徴とする。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

請求項6に記載の発明は、登録されたアドレス情報を記憶する第1の記憶手段と、前記第1の記憶手段から発呼あるいはメールの送信頻度の多い所定数のアドレス情報を抽出して記憶する第2の記憶手段と、を有する通信装置におけるアドレス情報の表示方法であって、着呼時あるいはメール送信時に、第1の記憶手段から発呼者の情報を検索して表示し、発呼時あるいはメール送信時に、第2の記憶手段に記憶されたアドレス情報を表示することを特徴とする。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

請求項7に記載の発明は、登録されたアドレス情報を記憶する第1の記憶手段と、前記第1の記憶手段に記憶されたアドレス情報から所定数のアドレス情報を抽出したアドレス

情報を記憶する第2の記憶手段と、を有する通信装置におけるアドレス情報の表示方法であって、着呼時或いはメール送信時に、第1の記憶手段から発呼者の情報を検索して表示し、発呼時或いはメール送信時に、第2の記憶手段に記憶されたアドレス情報を表示することを特徴とする。